

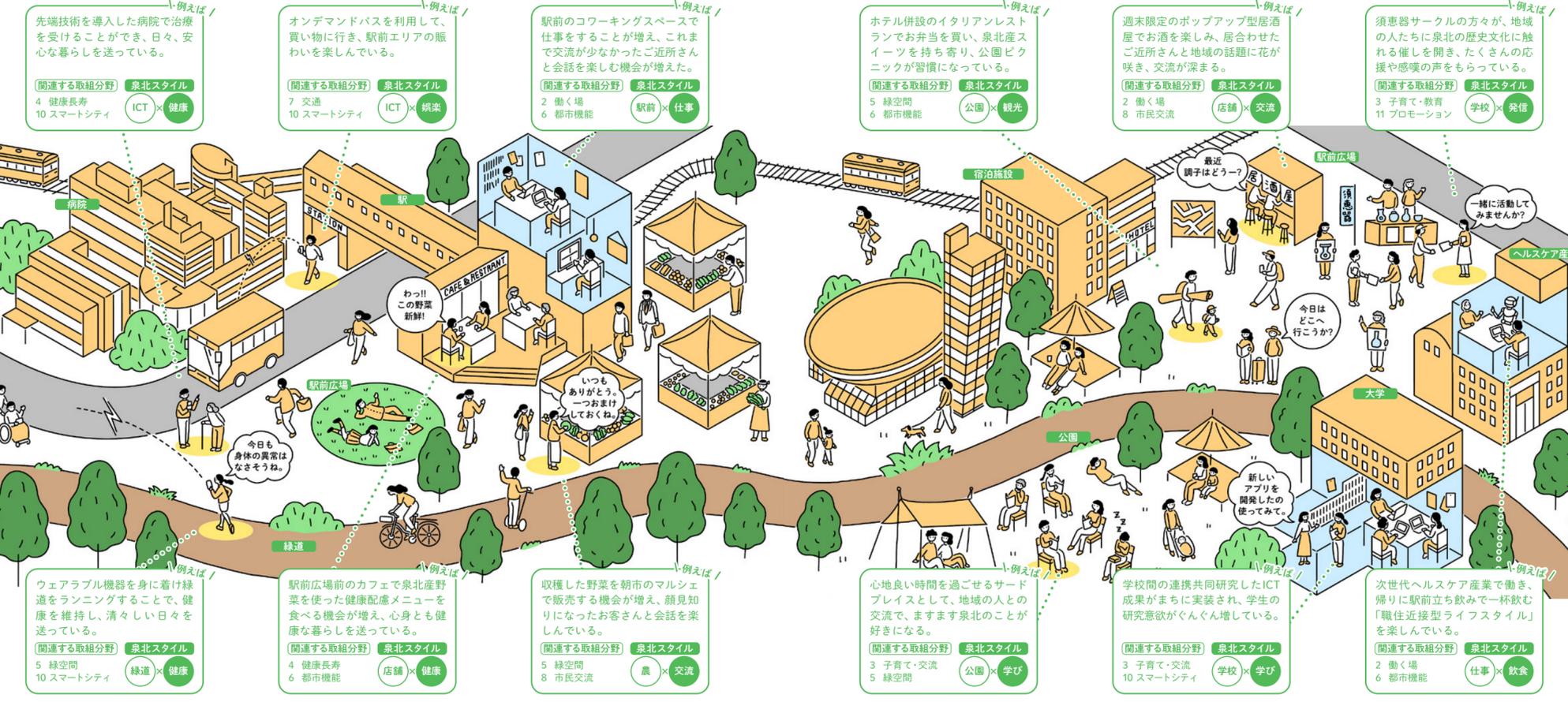
SENBOKU New Design

かつてのベッドタウンから、より豊かに暮らせるまちへ

～泉北ニュータウンの価値を高め、次世代へ引き継ぐ～



10年後のまちイメージ 駅前および周辺エリア



暮らし方を選べるまち、泉北ニュータウン

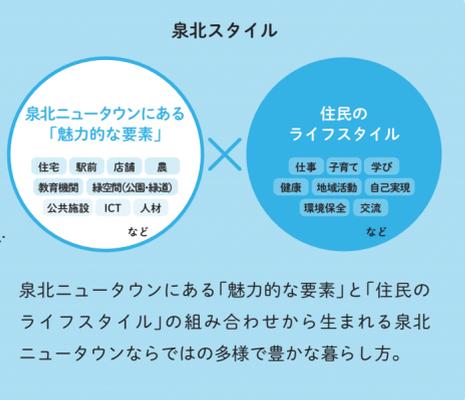
まちびらきから50年以上が経った泉北ニュータウン。数多く整備された戸建住宅や団地、日々の暮らしを支える駅前空間、気持ちよく歩き集うことができる公園や緑道、ちょっと足をのばせば隣に広がる農村の景色など、大阪都市部の「ベッドタウン」として、ゆとりある良好な住宅地として成長してきました。

そして、社会情勢はさらに進展し、情報技術は進み、人々の働き方も変わりつつあります。泉北ニュータウンでは、このような社会環境やライフスタイル、価値観の変化に対応し、多様な機能が備わり、多様性を受け入れ、多様な暮らし方が実現できる「より豊かに暮らせるまち」をめざしていきます。

10年後のまちのイメージの見方

泉北ニュータウンを5つのエリアに分けて、それぞれのエリアの10年後のまちの姿と暮らす人の姿のイメージをイラストとともに示しています。

- ①駅前及び周辺エリア
- ②近隣センター
- ③戸建てエリア
- ④団地エリア
- ⑤公共施設



かつてのベッドタウンから、より豊かに暮らせるまちへ

～泉北ニュータウンの価値を高め、次世代へ引き継ぐ～

高度経済成長期の住宅需要に応じて計画された泉北ニュータウンは、1967年のまちびらき以来、大阪都市部のベッドタウンとしての役割を果たし、緑豊かでゆとりある良好な住宅地として成長してきました。一方で、ニュータウン開発当初に一斉入居した世代の高齢化や、働き方、買い物などの人々のライフスタイルや価値観の変化などの社会環境の変化に直面しており、これらの変化に対して、都市として変革できる柔軟な受容力を持つことが重要となります。つまり、泉北ニュータウンにおいては、50年以上にわたる歴史や人々の生活を尊重すると同時に、新たな価値を創造し、新たな層を呼び込むことができる都市、すなわち画一的な住宅中心であった「ベッドタウン」から、多様性を受け入れ、多様な機能が備わ

り、多様な暮らし方が実現できる、魅力的で暮らしやすい「より豊かなまち」へと変革し、その価値をさらに高めていかなければなりません。そして、現在のみならず、今後の社会環境の変化に対しても常に変革し、新たな価値を創造し続け、持続発展するために、生み出された泉北ニュータウンの価値を皆で共有し、次世代に引き継いでいくことが重要です。そのため、これまでの「泉北ニュータウンの価値を高め、次世代へ引き継ぐ」との理念を継承しつつ、その理念を共有するためにめざまちの姿を「かつてのベッドタウンから、より豊かに暮らせるまちへ」として具体的に表し、SENBOKU New Designの理念とします。

基本方針1
多様な世代が住み、働き、安心して暮らせる

1. 住まい 良好な住環境を形成する
2. 働く場 職住一体・近接のライフスタイル
3. 子育て・教育 安心した子育てと先進的な教育
4. 健康長寿 安心して健康に暮らせる

基本方針2
豊かな緑空間と多様な都市機能が調和したまち

5. 緑空間 公園や緑道などの緑を身近に感じる
6. 都市機能 豊かに暮らせる賑わいあるまち
7. 交通 多様で便利な交通手段

基本方針3
住民、企業、大学、団体など様々な主体と思いを共有し創造する

8. 市民交流 様々な交流や活動の創出
9. 共創 行政と民間とのパートナーシップ

基本方針4
持続可能なまちをめざし、ICT等の先端技術を用い、社会資本を活用・運営する

10. スマートシティ ICTを活用した暮らしの質の向上
11. プロモーション 選ばれるまちとして情報を発信する
12. 都市経営 持続的で効率的な考え

